

## ケースメソッド

事例検討ではありません。

支援についての考え方や方法をみんなで持ち寄るワークショップです。

個別支援についての考え方と予防や新しい支援の仕組みなども考案してください。

A :

夫がいるが、家のことは全て妻に任せている。子どもが中学生、小学生と保育所。母親は精神障害手帳を持っている。母子は昼夜逆転で不登校、生活リズムも不規則。家事は中学生が主に行っている。家はゴミ屋敷状態に加えて猫もたくさん増えている。マンションの自治会からはゴミを何とかするように書類が来ている。

B :

75歳の母親と48歳の引きこもり（発達障害？）の長男の二世帯。

母親は要介護度が3。入浴や排せつもままならず、介護サービスの導入を進めるも、経済的理由からサービスをなかなか受け入れない。母親の一番の願いは息子の自立である。母親は遺族年金があり、家賃が8万円。生活費がなくなり、電気、ガス、水道が止まってしまう。

C :

両親と41歳の引きこもりの男性の三世帯。家庭内暴力、暴言等で母親は精神的にも困憊している。マンションは相談で管理組合から立ち退きを迫られている。小学校は行けたが、中学校から不登校になり、就職を目指したが九九が言えない、漢字が読めないため就職につながらなかった。今は家から一歩も出ることができなくなっている。